

まちを知る 議会を知る

# みのかも 市議会 だより

2018.8.1

No.174



## 平成30年市議会第2回定例会

補正後総額203億7,548万2千円の  
一般会計補正予算案などを可決

## 常任委員会で行政視察を実施

第63回美濃加茂市消防操法大会 第5分団(加茂野)優勝

### 主な内容

- ◆定例会の審議結果 …………… 2・3P
- ◆委員会審査の概要  
企画建設常任委員会 …………… 4P  
文教民生常任委員会 …………… 5P
- ◆市政一般に対する  
質問と答弁 …………… 6~13P
- ◆議会日誌 …………… 13P
- ◆行政視察の報告 …………… 14・15P
- ◆お知らせ …………… 16P



## 定例会の審議結果

平成30年

第2回

# 定例会

補正後総額203億7,548万2千円の一一般会計補正予算案などを可決

市議会第2回定例会は、6月4日に開会し、6月26日までの会期23日間で開催しました。

初日は、13議案を上程し、提案説明を行い、議第40号については、質疑、採決まで行い、選第1号については、指名推選により、副市長及び議長が県後期高齢者医療広域連合議会議員に当選しました。

13日、14日は、14人の議員が一般質問を行いました。

15日には、議案の訂正を承認し、各議案について質疑を行ったほか、承第9号、議第41・42号の3議案を追加上程し、委員会付託を行いました。

付託された各議案の審査のため、18日に企画建設常任委員会、19日に文教民生常任委員会を開催しました。

26日には、各議案に対する委員長報告・質疑・採決を行い、定例会を閉会しました。

## 議案 クローズアップ CLOSE-UP

### 議第39号 市一般会計補正予算（第2号）

#### 安全・安心なまちへ

- 防犯カメラ設置事業 (1,291万円)
- 防犯活動推進事業 (830万円)

通学路を中心に防犯カメラを20台分、自治会要望を中心に防犯灯を400基分増設するもの



#### 駅前に新たな拠点

- 市民活動サポートセンター事業 (111万9千円)
- 国際交流事業 (872万7千円)

今年秋に市民活動サポートセンターと国際交流協会が駅前ビルに移転することに伴うもの



#### プール跡地の民間活力導入可能性を調査

- 前平・東総合運動場事業 (892万9千円)
- 前平市民プールの跡地活用について、市として、どのような手法で行うことが最も有効であるか、民間事業者はどんなアイデアを持ちながらどんな手法を望むのかなどを整理し、民間活力導入の可能性を探ろうとするもの

#### 地域経済の活性化と雇用の促進を図る

- 新産業集積地区整備事業 (456万9千円)
- 複数の場所において、土地の利用状況や法令関係、支障物件などの状況について調査を行うとともに、簡易的な地盤調査、概略の造成計画図面の作成、概算事業費の算出を行い、これらの結果を取りまとめて比較検討を行うもの

### 議第41号 財産の取得

#### 学校のICT環境整備の推進

市内の小学校8校、中学校2校に電子黒板を30台、教師用タブレットを32台、関連機器及びソフトを購入するもの

- 契約の相手方 (株)エフワン
- 取得金額 3,067万2千円



電子黒板を使った授業（太田小学校）

## 学校施設のブロック塀などの点検結果について報告を受けました

倒壊の危険があると報告されたのは、次の3校です。

#### ●伊深小学校

プール北側ブロック塀  
…児童が近づかないようコーンを設置した。対応を検討していく。



#### ●東中学校

体育館北側駐輪場 ブロック囲い  
…鉄骨を残して、ブロック部分のみ撤去の予定。



#### ●西中学校

プール西側駐輪場、体育館西側トイレのブロック塀  
…ブロック塀の部分撤去の予定。



## 定例会の審議結果

### 議案等の審議結果

全会一致で承認・可決された議案等

議案番号	議案名	主な内容
承第3号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算（第12号）	2,000万円の増額、予算総額は221億6,034万円 ふるさと納税による寄附金の増加に伴う増額補正 7事業の繰越明許費補正
承第4号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律が平成30年4月1日に施行されたことに伴い、所要の改正を行ったもの
承第5号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が平成30年4月1日に施行されたことに伴い、所要の改正を行ったもの
承第6号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市税条例等の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律が平成30年4月1日に施行されたことに伴い、所要の改正を行ったもの
承第7号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市都市計画税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律が平成30年4月1日に施行されたことに伴い、所要の改正を行ったもの
承第8号	専決処分の承認を求めることについて 平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算（第1号）	650万円の増額、予算総額は201億8,650万円 4月24日から25日にかけての大雨により、被害を受けた施設等の復旧費の増額補正
承第9号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度美濃加茂市下水道事業会計補正予算（第1号）	8,515万円の増額、予算総額は17億9,846万5千円 加茂野町今泉地内における雨水対策事業の推進のため、国の社会資本整備総合交付金（平成29年度補正予算）が採択されたことによる増額補正
議第34号	美濃加茂市税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律が平成30年4月1日に施行されたが、その時点で一部引用法律が未公布であった。それら未公布の引用法が公布されたことに伴い、所要の改正を行うもの
議第35号	美濃加茂市都市計画税条例等の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律が平成30年4月1日に施行されたが、その時点で一部引用法律が未公布であった。それら未公布の引用法が公布されたことに伴い、所要の改正を行うもの
議第36号	美濃加茂市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について	学校教育法の改正に伴い、項ずれを解消するため所要の改正を行うもの
議第37号	美濃加茂市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について	市長の附属機関として「美濃加茂市未来のまちづくり委員会」を位置付けるとともに、非常勤の特別職職員の報酬等について、所要の改正を行うもの
議第38号	美濃加茂市民プールの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	市民プールの除却決定に伴い、条例を廃止するもの
議第39号	平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算（第2号）	1億8,898万2千円の増額、予算総額は203億7,548万2千円 2ページに掲載の事業などによる増額補正
議第40号	美濃加茂市監査委員の選任について	任期満了に伴う後任委員の任命同意（永田博和氏 新任）
議第41号	財産の取得について	電子黒板及びその周辺機器の購入に当たり、議会の議決を求めるもの（詳細は2ページに掲載）
議第42号	財産の取得について	41人乗りバスの購入に当たり、議会の議決を求めるもの
選第1号	岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	岐阜県後期高齢者医療広域連合規約第8条第1項及び第2項の規定により選挙を行うもの（高橋洋子副市長、渡辺益己議長 当選）

### 議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいたご意見を掲載します。

- ・ 一般質問の初日です。議員の皆さんが市をよくするために、いろんな方面について質問されました。小中学生の通学時、特に下校時の身の安全、また女性のためのカミーン事業の充実、目標達成など一市民として気の届かないことをしっかりと尋ねられるので、傍聴した者にとって非常に嬉しく思いました。
- ・ 美濃加茂市にも女性副市長がうまれて、大変良い事だと感じた。カミーン推進はめざましいことで、これからも市が大いに示していただきたい。カミーンノの具体的目標数値とか達成率とは何だかよくわからない。
- ・ 今回も市で行っている色々な取り組みを知ることができました。とても身近なことまで話して合っていた。知っていることも知ることができました。ありがとうございます。
- ・ (歯と健康の一般質問を聞いて) 自分も歯が大変悪いです。いつも気をつけながらいます。自分の親も同じく大変悪かったです。今日は大変学ばせていただくことができありがとうございます。ありがとうございました。
- ・ 質疑の内容を聴くことにより、一般質問の時よりも深く、するどい質問がなされ、傍聴者にはより詳しく理解できるので大事な時間であり、有意義なことだと実感しました。



委員会審査の概要

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。  
 ※《》は議案名、◆は主な内容、（ ）は補正金額。

企画建設常任委員会

《専決処分の承認を求めることについて 平成29年度市一般会計補正予算（第12号）》

◆繰越明許費の補正：シテイプロモーション事業（293万3千円）

問 シテイプロモーション事業の費用対効果は。

答 「半分、青い。」の放送開始に併せ、パネル展を東図書館で行ったところ、来館者も増加した。また、NHKの番組情報誌の1面にリバーポートパーク美濃加茂の広告を掲載し、13万部発行された。さらに、特別編集版を3万部作成し、市内のアンテナショップや観光案内所、JRの観光列車でのPRに使用するなどしたため、効果があった。



「半分、青い。」パネル展

《専決処分の承認を求めることについて 市都市計画税条例の一部を改正する条例》

◆バリアフリー改修が行われた劇場や音楽堂について、改修工事が完了した年の翌年度から2年度分の都市計画税額を3分の2の額に減額するもの。

問 劇場や音楽堂に係る税額の減額措置の内容は。

答 障がいの有無に関わらず、芸術文化活動のできる環境を醸成し、共生社会の実現の一助になるよう、バリアフリー化促進のためとられた措置である。

《市税条例の一部を改正する条例》

◆市が、主体的に作成した計画に基づき行われた中小企業の一定の設備投資について、3年間の固定資産税をゼロまで軽減するもの。

問 適用される対象及び手続きは。

答 中小企業基本法上の中小企業が対象となり、具体的には、資本金1億円以下の法人等である。また、商工会議所により事前審査した上で、市において認定する形になる。

《市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例》

◆「美濃加茂市新庁舎整備基本構想策定委員会」を廃止し、新庁舎整備基本計画と立地適正化計画の策定を進めるため「美濃加茂市未来のまちづくり委員会」を設置するもの。

問 委員の構成は。

答 学識経験者は、現在のところ4名ほど、市長が適当と認める者は、6名以内で考えており、議会からは新庁舎建設特別委員会委員長を選任する予定である。また、廃止する新庁舎整備基本構想策定委員会の委員からも選任する予定である。

《平成30年度市一般会計補正予算（第2号）》

◆防犯カメラ設置事業：2ページ参照

問 防犯カメラの設置箇所は。

答 加茂警察署や小中学校から約60台の設置要望が出ているので精査し、順次設置していく。

◆農業用施設事業（1,400万円）：自治会要望の対応を中心として、農道舗装や農業用施設の改修を行うもの。

問 農業用施設改修の内容は。

答 排水路の改修を2カ所予定している。西町については、昨年の大雨の際に隣接する農地に水があふれたため、畦畔を補強するものと、昨年度からの継続事業で山之上小学校前の老朽化した水路の護岸を修繕するものである。



## 委員会審査の概要

### ○文教民生常任委員会

《専決処分の承認を求めることについて》平成29年度市一般会計補正予算（第12号）》

◆繰越明許費の補正：牧野ふれあい広場整備事業（1,490万4千円）

問 牧野ふれあい広場整備事業の繰越理由は。

答 整備に係る補助金や調整池の施工方法等について、県との協議に時間を要したことや、昨年夏ごろ、予定している敷地の地下に横穴が発見され、その現地調査に時間を要したため繰越しとなった。

問 牧野ふれあい広場整備事業で整備していく施設の内容は。

答 400メートルトラックをはじめとした陸上競技場、トラック内にサッカー場、東側にアーチェリー場を整備していく基本構想となっている。

《専決処分の承認を求めることについて》市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例》

◆平成30年度以降の保険料を徴収すべき被保険者に係る規定のうち「住所の特例」について改正するもの。

※住所の特例：被保険者が、他市町村の施設に入所又は入居して、施設所在地に住所を変更した場合でも、元の市町村の被保険者のままでいる制度。

問 今回の条例改正の概要及び保険料への影響は。

答 住所の特例の改正であり、保険料には影響がない。また、住所の特例については、広域連合を越えた場合であり、岐阜県内の場合には、今回の条例改正の適用は受けない。

《専決処分の承認を求めることについて》市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例》

◆放課後児童支援員の資格基準について改正するもの。

問 今回の条例改正による放課後児童支援員の資格基準は。

答 国の改正を受けたものであり、放課後児童クラブの勤務経験は豊富であるが、高校を卒業していない場合でも、市長が適当と認めたものについては、県知事が行う研修を修了すれば、放課後児童支援員になれるとした。また、教員免許の更新の有無を問わないことについても明確にした。

《平成30年度市一般会計補正予算（第2号）》

◆市民活動サポートセンター事業、国際交流事業：2ページ参照

問 駅前ビルの賃借料及び来年度からの見通しは。

答 今年度は、9月から賃借し、月額16万4千円である。来年度以降は、契約は1年ごとに更新する予定であるが、長期の借用を考えている。

◆嘱託職員給（362万8千円）  
：授業の準備補助員として各校1名のスクールサポートスタッフを配置するもの。

問 嘱託職員の配置は。

答 市内各小中学校へ照会をかけて希望のあった、太田小学校、古井小学校、加茂野小学校及び山手小学校の4校へ配置する予定としている。

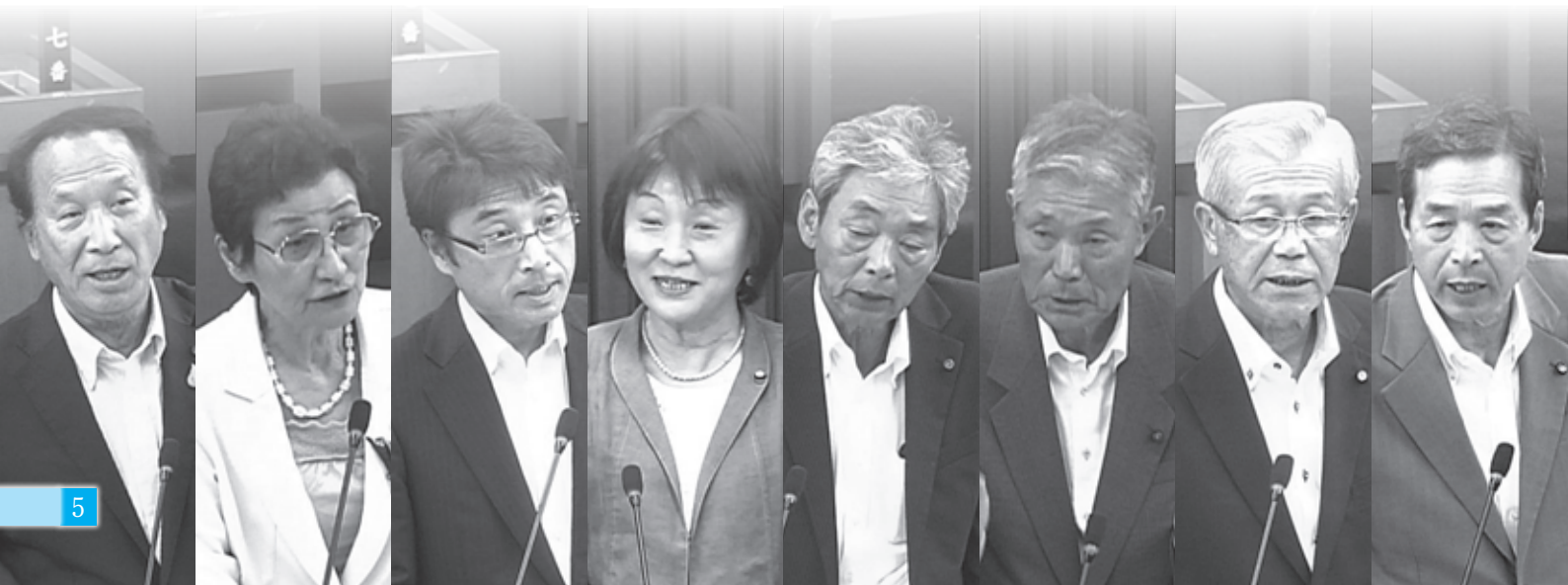
◆人物顕彰事業（301万4千円）  
：坪内逍遙大賞記念事業開催

問 坪内逍遙大賞記念事業について、事業内容及び委託先は。

答 事業内容について今回の受賞者である北川悦史子さんに、希望を伺ったところ、NHKドラマ「半分、青い。」の制作スタッフの方々と一緒にトークをしたいという意向であったため、トークショーを行いたい。また、委託先については、NHKサービスセンターを予定している。



第17回坪内逍遙大賞の受賞者発表会見





市政一般に対する質問と答弁

# 市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登壇し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。  
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



渡辺益巳議長

■美濃加茂市議会 議会中継 <http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継



議会中継

■視聴方法 [トップページ](#) ▶ [会議名から選ぶ](#) ▶ [平成30年第2回定例会](#) ▶

[6月13日または14日 市政一般に対する質問](#)

■会議録検索システム <http://www.kaigiroku.net/kensaku/minokamo/menu.html>



坂井知足議員

## 小・中学校通学路等の安全対策

**問** 今年5月に新潟市で、小2の女子児童が下校途中で連れ去られ、殺害されるという事件が起きています。本市における通学路等の安全対策は。

**答** 登下校の安全対策については、大人による見守りや関係機関との連携、そして児童・生徒自らの安全意識の涵養が大切と考えている。そのため、ふれあい安全サポーターや地域安全指導員等による見守り、警察、県教育委員会等との連携による不審者情報等の提供、各学校における体験的な教育活動や訓練を通じた安全意識の涵養に努めている。また、今後、市では通学路への防犯カメラの設置など安全対策を進めていく。

## 中学校部活動の週休2日制の実施

**問** スポーツ庁は、今年3月に中学校の運動部の部活時間について、週2日以上は休養日を設ける指針を示し各自治体等に通知している。本市の運動部活動の

現状と今後の取り組み（ガイドライン）は。

**答** 本市の各中学校における運動部の活動は、これまで平日1日と第3日曜日を休養日としてきたが、この度のスポーツ庁の通知によりガイドラインを作成し、5月に各校長と保護者宛てに通知した。内容は、月曜日から金曜日の間で1日以上、土・日曜日のいずれかを休養日とし、週2日以上は休養日とするものである。また、活動時間は、平日は2時間程度、土・日曜日は3時間程度とするものである。

## カミリーの推進

**問** 本市では、平成27年度から女性性が活躍できるまちを目指して、まち・ひと・しごと創生総合戦略のカミリーを推進している。現状と今後の取り組みは。

**答** このカミリーは、5ヶ年計画のほぼ中間地点を迎え、昨年度はアクションプランを35事業に増やして成果を挙げている。今後は、更に女性がいっきいき暮らしていけるまちを目指して、アピタ1階に「みのかも女性活躍支援センター」を開設して、就労支援事業などの推進を図っていく。

市政一般に対する質問と答弁



片桐美良 議員

持続可能な地域づくり

**問** まちづくり協議会の地域での位置づけは。

**答** 小学校区を基本区域として、広域的に持続可能な地域づくりを推進する組織と考えている。

**問** 市長としてまちづくり協議会に期待するものは。

**答** 自治会や各種団体とも連携を深め、互いに共存しながら活発で持続可能な地域づくりを推進することを期待する。

**問** 地域運営組織化が必要ではないか。

**答** まちづくり協議会の組織体制等を整えることで、その役割を十分果たすことができると考える。

**問** 農村環境や集落コミュニティ維持のための推進方策は。

**答** 三和町において共同で集落の農地を守り運営する取り組みがあり、こうした動きを支援するとともに、各分野の関係者が連携して総合的な取り組みを行うことができるよう、その環境・拠点・仕組みを整備し、調整役を果たしていくことが必要と考えている。

歯及び口腔の健康づくり

**問** 小中学校の歯科検診における現状と未受診率は。

**答** 昨年度の小学校6年生で虫歯のある児童の未受診率は6.3%、中学校3年生では3.7%でいずれも県内平均を下回っている。

**問** 歯科検診をより有効に活用する対策は。

**答** 検診結果を全家庭に通知し、治療が必要者には歯科医での治療結果を提出するよう求めている。一方、歯科健診の結果を歯磨きの習慣化につなげることが重要で、各学校の丁寧な指導と、家庭との連携した取り組みを継続していく。

**問** 丈夫な歯、骨格形成に向けた食育は。

**答** 学校給食では、献立の工夫や啓発に今後も努める。家庭向けにはカミカミレシピ集などで紹介などして啓発に努めている。

**問** 高齢者向けの取り組みと現状把握は。

**答** 高齢者の口腔機能の向上を目的として、昨年度は健口はつらつ教室・フォローアップ教室・いきいき元氣塾の3事業を実施した。



牧田秀憲 議員

子どもの貧困

**問** 7人に1人と言われている子どもの貧困率だが、本市の実態を調査などしているか。

**答** これまで貧困率に関する調査は実施しておらず、今年9月に、本市の子育て世帯の経済状況や、生活状況、支援ニーズ等について実態を調査、把握し、その分析結果を、今後の子ども子育て環境に関する施策の推進に活用する予定である。

**問** 本市の取り組み又は支援の現状は。

**答** 経済的に厳しい状況にあるため、十分な教育機会が得られないことにより、進学や就職に不利な状況が発生し、それが理由で収入が安定しないこととなり、さらに次の子どもの世代も貧困状態に陥るといった「貧困の連鎖」を防止するため、生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援事業を、社会福祉協議会に委託し、毎週金曜日の夜と土曜日の午後に総合福祉会館にて実施している。

**問** 今後に向けての取り組みや課題は。

**答** 調査の結果を踏まえ、貧困の連鎖を防止するため、必要な学習機会の提供を行う学習支援事業等が更に拡大できるよう検討していく。この学習支援事業は、現在、総合福祉会館でしか実施していないが、事業を拡大するに当たっては、実施できる場所、教える側のボランティア等人材の確保などが、今後の課題になってくるものと思われる。

本市庁舎の電力供給

**問** 電力自由化に伴い、平成28年10月から高圧電力に限り電力会社を変更した。変更前と比べて電気料金や電気の安定供給はどうか。

**答** 電気料金については、ダイヤモンドパワーと電力供給契約を結んだ25施設において、施設の大小による電力消費量の差や従前の契約プランの違いにより削減効果割合にばらつきがあるものの、25施設の電力単価の平均削減率は、11.6パーセントとなった。また、電気の供給については、安定したものである。

各施設が契約する新電力会社は、電気料金単価の削減が図られていることから、今後においても、より安価な電力供給が可能な電力会社との契約を考えている。

市政一般に対する質問と答弁



高井 厚  
議員

買い物に困難な人達への  
買い物支援

**問** この施策の考えについて、平成27年第3回定例会での答弁は、「配食・配達サービス業者の紹介をすること、公共交通網形成計画の中で特に意識して位置づけたい」であった。

高齢者実態調査での「日用品の買い物ができない」の結果は。

**答** 平成29年3月に実施した高齢者実態調査では、回答者1,855人（要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の者）のうち、自分で食材や日用品の買い物が「できない」と回答した人は36人で、全体の1.9%（3年前の同じ調査では2.6%）であった。

なお、39人のケアマネジャー（介護専門員）を対象にした同調査において「高齢社会に対して、今後何に重点を置くべきか」と質問したところ、53・8%と半数以上が「高齢者が安心して買い物をするための買い物弱者対策の推進」と答えている。

**問** 市内において、業者による移動販売の状況は。

**答** 現在、市内で移動販売を業として実施されている業者を、正確に把握していない状況である。なお、去る5月に、本市で移動スパーの事業展開を予定されている業者の説明を受けており、今後早期の情報収集等をしていきたいと考えている。

**問** あい愛バスを活用した日用品購入者の現状は。

**答** あい愛バスの再編に当たり、新たに商業施設付近にバス停を8カ所増やし、計13カ所の商業施設にあい愛バスにより、買い物ができるようになった。



あい愛バス

**問** 移動販売車の運行を試験的にでも行うことは。

**答** 自力で買い物ができない買い物弱者対策は、本市にとっても近々の課題である。移動販売車の試験運用については、先進地の事例等を研究し、今年度から設置している生活支援コーデイネーターを中心に、生活支援体制整備協議体で協議していきたい。



柘植宏一  
議員

新庁舎建設計画

**問** 新庁舎建設資金の上限はどれほどか。

**答** 平成33年度末での基金残高約10億円と、将来負担比率0%堅持及び他事業推進との兼ね合いを考慮すると市債30億円、合わせて40億円を想定している。

**問** 資金上の制限やICT（情報通信技術）の進展、地域課題解決型行政の推進を考慮すると分散型に向かわざるを得ないと考えるが。

**答** 地域課題解決のためのコミュニケーションスペースは絶対に必要と考えるし、許可や証明書の発行などのオンライン化も進むことから一ヶ所にまとめる必要はないが、防災や教育関連などは、集合することのメリットもあることから、全てを分散するのではなく総合的に検討したい。

第6次総合計画

**問** 策定方針は。

**答** 6次総では個別計画の位置づ

けを明記し、成果指標とすることなどで、より実効性の高い計画としたい。また、中長期的な視点で市を上げて重点的に取り組む課題と対策を明確に掲げ、市民活動や各個別計画及び各事業の指針となる総合計画とする必要性を感じている。

発達支援センター

**問** 本年度から、発達障がい専門監として可茂特別支援学校元校長の原武志氏を招聘するなど、センター設置に向けて準備が始まっている。センターの役割及び主管課はどのようになっていくか。

**答** 発達支援に関しては早期発見から早期療育へと繋げ、最終的には就労支援へと展開していくべきと考えているので、福祉全般を担う福祉課の主管が望ましいと考えている。

**問** 準備会と原専門監の関係は。また、教育委員会を含めた多部署横断型のセンターの位置づけは、課と同等の組織であるべきと考えるがどうか。

**答** 原専門監の専門的な知見を活用すべく中心的役割を担っていただく。また、位置づけに関しては独立した専門部署として設置したい。



市政一般に対する質問と答弁



酒向 信幸 議員

歯と健康

**問** 「美濃加茂市民の歯と口腔の健康づくり条例」が施行され5年が経過するが、基本的施策は計画的に実施されているか。

**答** 基本的施策は、ライフステージごとに歯と口腔の健康づくり事業を掲げており、母子健康手帳交付時の妊婦に対する歯科指導から始まり、幼児健診でのフッ化物塗布事業によりむし歯予防を行っている。幼児期・学齢期では、歯科医師会の協力の下フッ化物洗口によるむし歯予防とともに、歯科衛生士による歯みがき指導を実施している。次に、成人期には歯周病検診と「ぎふ・さわやか口腔健診」を実施している。また、障がい者や介護を必要とする高齢者には、居宅療養管理指導や訪問歯科診療が行われている。

なお、「8020運動」は、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動で歯科医師会に推薦していただき、健康福祉すこやかフェスティバルにて表彰を行っている。最後に、歯と口腔の

健康づくりに関する調査等に対しては、今年度実施する健康意識調査の中で計画しており、その結果から今後さらなる「歯と口腔の健康づくり」を推進していく。

夢の教室

**問** 夢先生は、生徒と一緒に体を動かして、仲間と協力することの大切さや夢を持つことの素晴らしさを生徒に伝えている。多くの保護者の参観から、親子で夢を語ることが素晴らしくと思いがどうか。

**答** 夢先生の素晴らしさは、アスリートとしての実績だけでなく、挫折があっても、夢に向かって努力することを体現されていることにある。また、子どもたちが夢先生の生き方にあこがれを持ち、子ども自身の夢づくりに大きな影響を与える人としての魅力にある。

保護者の参観で、自身も夢先生からの感化を受け、家庭教育の一助にもなると考えている。他の学校行事との関連や駐車場の確保等の問題もあるが、学校の実情に合わせて保護者の参観も視野に入れていくことを各校に働きかけた。



日置 祥子 議員

国民健康保険

**問** 国保財政の管理者となった岐阜県下の国保運営方針のポイントとは。

**答** 市町村ごとの納付金の算定方法は、医療費水準の格差を反映させること、納付金の配分方式は所得割、均等割、平等割の3方式が定められている。今後の医療費の見通しは被保険者のうち、中・高齢者が占める割合が高くなることや医療の高度化などから一貫して一人当たりの医療費は増加すると見込まれる。これを踏まえ、医療費の適正化と収入面においては、適正な保険料の設定や保険料収納率の向上を進めていく必要がある。

モデルケースの場合、保険料は介護保険料も入れて所得の17.22%である。これとどうやって生活せよ、というのが。

**答** モデルケースの所得は、所得税法により求めたもので、実際の収入はもう少し多い。

**問** 県統一の保険料にするという動きはあるのか。

**答** 標準保険料率を全て同一にして統一すると明記されている。ただし、医療費水準の格差、保険事業の取組の違い、収納率格差等の課題があり、慎重に協議を重ね検討していくことになる。

学校給食

**問** 学校給食費の質問をすると必ず言われるのが、生活保護や就学援助の制度があり、低所得者には手当をしているということである。本市の生活保護の捕捉率は。

**答** 捕捉率はわからないが、保護率は0.26%である。

**問** 本市の就学援助率は。

**答** 就学援助率は7.4%である。

**問** これでは低所得者をカバーしきれないのでは。学校給食の無料化を検討する考えは。

**答** 給食費はあくまで保護者の負担であるという考え方は変わらないため、御理解いただきたい。

市政一般に対する質問と答弁



村瀬正樹  
議員

登下校時の子どもの安全

**問** 地域の見守り活動の現状は。

**答** 小学生の登下校の見守りを行っているのは、学校教育課が配置するふれあい安全サポーター、防災安全課所管の交通安全指導員、加茂警察署が委嘱している地域安全指導員などがある。このほかに、学校独自の地域見守り組織、教職員、保護者当番などが見守りに参加している。また、防犯カメラの設置も進めている。

**問** 下校時の人目につきにくい死角の調査や把握は。

**答** 年度当初の各校の担当者の確認や、通学班会や分団会での児童生徒の話し合いなどでなされている。また、親子登校を実施し、親子で歩きながら危険箇所を確認している学校もある。

**問** 交通指導員増員の考えは。

**答** 本市の交通安全指導員の数は6人であり、県内では、岐阜市の7人に次いで充実している。地域交通安全協会役員等のご協力を積極的にいただいているので、交通安全対策としての機能は十分果たしていると考えている。

**問** 中学生の通学路は決められているか、守られているか。

**答** 中学生の通学路は、交通量、幅員、視界など生徒の安全な登下校に配慮し、決定している。各学校では、指導した通学路を利用するように、指導している。

**問** 最終下校時刻は守られているか。

**答** 最終下校時刻は、各学校で、日没の時間を考慮して設定されている。

**問** 軽車両である自転車での通学生徒への指導は。

**答** 自転車通学生徒については、1年生を対象に、自動車学校を会場に自転車講習を実施している。

**問** 特別支援学級生徒の踏切横断について、どのような指導をしているのか。

**答** 学級や分団会等で、より丁寧な指導をしている。今後も繰り返し指導していきたい。



やまてサポート隊のみなさんの見守りの中、登校する子どもたち



森 弓子  
議員

下米田保育園

**問** 下米田地区の子ども増加への対応は。新園舎と定員増を望むが市の考えは。

**答** 現在の下米田保育園は、施設の収容能力を超える入園希望者となっている。今後も、この状況が継続すると思われるので、小規模保育園や企業主導型保育事業で3歳未満児に対応することも必要であり、民営化を前提として、規模を大きくしながら建て替えを検討せざるを得ない状況となっている。課題をクリアしながら、新園舎建設に向けて進めてまいりたい。

保育ICT

**問** ゼロからのシステム開発がなぜ必要なのか。何を目標に、いつ完了するのか。MIMOTEシステムは保育士の負担減になっっていない。この際、実証・検証に留めて、切りをつけるべきではないか。

**答** 本市では、MIMOTEというシステムを活用することで保育の質の向上を目指している。保育

士間のコミュニケーションを増やすことで、若手保育士の人財育成に役立っている。この実証実験は、常に改善を加えながら質的拡充を目指して進めていくものであり、現在は、地方創生推進交付金の対象として事業を進めている。質的拡充、いわゆる保育の質の向上には、終了がある訳ではなく、常に上昇志向を持って臨んでいきたい。保育士が不足する中、このMIMOTE以外で保育の質の向上や保育士のスキルアップの手段があるとすれば一考していきたい。

下米田小学校の学童保育

**問** 夏休みは4年生が学童保育の対象外になるとのこと、働くお母さんを応援する美濃加茂市として対応するべきではないか。

**答** 放課後児童クラブではなく、子どもの居場所として、活用できる施設で、保護者の方からご相談いただければ、ともに考えていきたい。



学童保育 (下米田小学校)



市政一般に対する質問と答弁



前田 孝員  
議

子どもの登下校時の安全対策

問 最近の本市における不審者情報  
の件数は。

答 平成27年度13件、28年度17件、  
29年度15件である。

問 具体的な安全対策は。見守り  
隊等の安全サポーターの登用は。

答 学校教育課では、ふれあい安  
全サポーターを配置している。加  
茂警察署は地域安全指導員などを  
委嘱している。

問 青色回転灯付車両（青バト）  
の利用は。

答 市内8地区から補導委員26名  
を委嘱し小中学生の下校時中心に  
巡回指導をしている。

問 防犯カメラの増設は。

答 現在美濃太田駅周辺に27基設  
置済みであり、今後、通学路への  
設置を進めたい。

小中高生のネット利用に  
よるゲーム依存

問 スマホの所持割合は。

答 平成29年度調査では、小学生  
20・5%、中学生46・9%、高校  
3年生97・6%である。

問 スマホ・テレビの一日の利用  
時間は。

答 一日のスマホ利用時間が3時  
間以上の生徒は、小学生5.1%、中  
学生11・2%、高校男子37・6%、  
高校女子42・1%である。

問 ネットゲーム依存の現状とそ  
の対策は。

答 県内の中学3年生では、男子  
84・6%、女子62・8%がゲーム  
をした経験がある。対策は、ネット  
ゲームのマイナスイメージを伝える指  
導が大切と考えている。教育委員  
会では、あじさい小中生サミット  
を開催し、「ネットルールを作り  
守ろう」項目が採択された。これ  
を受け学校ごとにネットルールを  
作った。

防災ラジオ

問 貸与状況は。

答 6月7日現在、貸与台数1,0  
88台、対象世帯の約63%である。

問 通常の行政同報無線情報を  
セットできないか。

答 緊急情報などを「FMらら」を  
介して放送するものであり、一般  
の防災行政無線の情報は流さない。

問 全戸に貸与すべきでは。

答 情報を取得できる環境はエリ  
アメール配信や「FMらら」のア  
プリなどで充実してきている。今  
後も75歳以上の世帯や聞き取りに  
くい世帯に対して、貸与を検討し  
たいと考えている。



山田 栄員  
議

観光事業

問 ぎふ清流里山公園の宿泊施設  
の概要は。

答 県の計画では公園の一般駐車  
場内に、2階建、客室数75の「宿  
泊特化型」の施設を建設し、外資  
系大手ホテルグループとの業務提  
供により運営するとされている。

オープン時期は平成31年度中の予  
定と聞いている。なお、業務提携  
を結ぶ外資系大手ホテルグルー  
プのブランド力を活かし、外国人観  
光客を中心に誘客を図る方針であ  
る。

問 ぎふ清流里山公園の屋根付き  
広場建設の進捗状況及び活用  
は。

答 今年度完成を要望してきたが  
現在は、実施計画・実施設計の段  
階で今年度内の工事発注により来  
年度完成の予定となる。なお、広  
場は1,000㎡で人工芝を張り、  
1,000人程度の収容が可能で  
あり、スポーツをはじめ、各種大  
会・集会の開催もでき、緊急時に  
は避難所として活用ができる。本  
市は市民をはじめ、より多くの皆  
さんに活用いただける環境整備に

向けて、県や指定管理者等とも、  
引き続き、調整していきたいと思  
っている。

問 「里山都市」を目指す本市に  
おける、北部地区の里山、「健  
康の森」、「ぎふ清流里山公園」、  
「中之島公園」連携事業の展開  
の考えは。

答 同時期に市内の3つの公園  
が、オープン又は、リニューアル  
し、北部地区の景観にスポットが  
あたりつつあることから、それ  
らを活用して、本市の活力や魅力  
を内外にアピールする絶好の機会  
を得ていると捉えている。各公園  
を構成員とする「美濃加茂市交流  
施設活用会議」で相互連携を進め  
る。会議においては、「里山」や、  
特に「健康」というキーワードの  
もとに、それぞれの利用促進に向  
けて、ウォーキング等のイベント  
開催や、インスタグラムをはじめ  
としたインバウンド対応の情報発  
信等、様々なアイデアが提案され  
た。今後は各事業を実践し、各施  
設相互のアクセスの検討も含め  
て、本市の「賑わいの創出」や  
「交流人口増加」につなげていき  
たいと考えている。

市政一般に対する質問と答弁



渡辺義昌 議員

メディカルシティ美濃加茂  
構想

**問** 総合医療センター建設の進捗状況とどのような病院になるのか。

**答** 本年夏頃を目途に基本設計中であり、完成は当初の計画通り平成34年春を予定している。病院規模は、3階建ての外來棟、9階建ての入院棟など延床5万㎡、基本病床数502床を有する、この圏域の中核的な病院になる。

**問** メディカルシティ美濃加茂はどのような構想・事業か。

**答** 最先端の医療を受けることができる医療センターを核に、広域医療及び地域活性化のための先進的の一大拠点として、官民が連携して安心安全なまちづくりを進めていく。

**問** 市の保健センターをメディカルシティ内に配置できないか。

**答** 健診や健康相談など市の保健業務の中核としてその一翼を担う保健センターが近接地にあることは、市民の健康増進に大きく意義のあることである。現在、第6次総合計画や新庁舎整備計画、立地適正化計画といった、市の将来像

について検討を深めており、市民にとってより安心につながるのか、検討している。

消防団員のなり手不足の  
現状や課題

**問** 年齢構成及び就業状況は。

**答** 団員の平均年齢は、35・5歳で、就業状況は、被用者（サラリーマン等）が249人で団員の85%を占めており、平成29年度の全国統計の73・2%と比較すると、本市消防団が多くの被用者団員で構成されていることがわかる。こうしたことから、訓練を行う際には、文書で事業所へ協力依頼を行うなどしているが、必ずしも全員が参加できる状況でない。

**問** 自治会や地域での募集方法と団員確保は十分か。また、市の援助は。

**答** 団員の募集については、自治会によって様々である。また、団員の定数については、確保できている。地域コミュニティの運営が、高齢化等により難しくなってきた中、消防団員の確保について、地域の皆様にご協力をいただき感謝申し上げる。積極的な情報発信に努めるとともに、消防団員に対する処遇改善に努めていく。



渡辺孝男 議員

リバーポートパークの  
利用状況

**問** 一日平均来場者数及び今後の施設運営は。

**答** リバーポートパーク美濃加茂の一日平均来場者数は、オープン日の4月28日から5月末日までの期間で、約450人となっており、各種イベントについてもリニューアルオープンしてから今までに、地域団体による森のプレパークやマルシェ、指定管理者による音楽イベント、市生涯学習課による青空図書館など実施しており、多くの方に楽しんでいただいている。今後とも地域団体、指定管理者、市とともに連携しながらいろいろな催しを実施し、公園のにぎわいの創出に努めていく。

同一住所問題

**問** 本市の同一住所は何世帯あるか。

**答** 太田地区、古井地区で923カ所、延べ2,534軒が同一住所となっており、対象地域の人から郵便物の誤配があるという相談や、自治会要望等を受けたことがある。対策として住居表示地区で

同一住所となっている場合、申し出をいただければ、枝番を付した住居番号に変更の対応をしている。

美濃加茂結婚相談所

**問** 婚活イベントを山之上まち協とタイアップして実施されたが、今後の計画は。

**答** 山之上で行ったフルーツ婚には90名以上の応募があり、抽選で選ばれた男女12名が参加された。アンケートでは、「非常に楽しかった」、「新しい友人ができた」等の意見が出され、3組のカップルも誕生した。今年度は、カミィノ推進婚活支援事業として8月にリバーポートパーク、12月にはみのかも文化の森、10月には山之上まちづくり協議会と協力しての婚活イベントをそれぞれ予定している。



マリッジカフェ MINOKAMO (美濃加茂市結婚相談) リーフレット



市政一般に対する質問と答弁



金井文敏 議員

市民の「みんこ」

**問** 廃棄物処理に対する市の責任と役割は。

**答** 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条により、市民の皆様と一体となつて、生活環境の保全と公衆衛生の向上に努めていくのが役割と考えている。

**問** 自治会未加入者の対応は。

**答** ごみ集積場は自治会に管理・運営をお願いしているため、該当の集積場を管理している自治会を案内し、ご相談いただき、清掃当番など当該自治会で決められたルールの確認をしていただいている。

日程や分別方法については、市で発行している収集日一覧表及び家庭ごみの分別と出し方により市で説明、指導している。

**問** ごみ出し困難者への代行支援は。

**答** 関係課及び地域の関係団体との協議を進めている。

健康ポイント

**問** 健康ポイントにより、自主的

な取り組みを後押しすることで運動習慣をつけることができ、医療費の抑制にもつながる。健康ポイントの概要は。

**答** この事業は、市町村が設定した健康づくりメニューを行い、所定のポイントを貯めた県民にミナモ健康カード、抽選申込書が交付され、県や市町村、協力店から様々な特典が受けられるというものがある。

健康づくりの究極の目的は、健康寿命の延伸であり、見方を変えると医療費の削減につながると思われる。健康ポイントは、健康づくりに関心のなかった層にもプラスの影響を与えてくれるのではと期待するものであり、本市も積極的にこの事業に参加していく考えである。

**問** 各自がメニューを選び挑戦することに、市の考えは。

**答** 各自の健康保持増進が得られるよう準備をしていく考えである。

魚津市との珪化木を活用した姉妹都市交流の考え

**問** 姉妹都市交流のメリットは。

**答** 現状の文化、歴史、産業など特定の資源や分野で、関係性の高い都市との交流・連携を図り、交流人口、あるいは関係人口の増加に繋げていくという方法もある。

議会日誌 (主なもの)

5月	6月
31日	31日
市体協大会開会式	議会運営委員会 国道418号整備促進期成同盟会 収支監査
7日	1日
議会運営委員会	中濃地域農業共済事務組合議会臨時会(関市)
8日	4日
文教民生常任委員会行政視察(10日)	市議会第2回定例会(26日閉会)
花フエスタ記念公園「春のバラまつり&モロッコデー」「ぎふ国際ローズフェスティバル」開会式(可児市)	議会だより編集委員会
13日	10日
かもーぐらんぶり(富加町)	市消防操法大会・消防団競練会
14日	16日
加茂防衛協会定期総会	少年の主張美濃加茂大会
市商店街連合会・ポイントカード会 合同通常総会	レンジャー部隊慰問激励(白川町)
18日	17日
国道41号美濃加茂・下呂間強靱化 推進同盟会会計監査	国民健康保険運営協議会
可茂地域市町村議会議長会	美濃加茂商工会議所通常総会
21日	24日
県旅館ホテル生活衛生同業組合通常 総代会	みのかも健康の森あじさいまつり開会 式
加茂防衛協会美濃加茂支部定期総 会	議会だより編集委員会
22日	29日
中濃法人会美濃加茂支部通常総会	議会だより編集委員会
市観光協会総会	7月
23日	4日
中濃十市議会議長会議(山県市)	議会だより編集委員会
24日	9日
新庁舎建設特別委員会	東海環状自動車道中東濃地域建設 促進協議会定期総会
議員OB会研修会	木曾川右岸用水土地改良区臨時総 代会
25日	11日
旧伊深村役場庁舎リニューアルオープ ン記念式典	学校給食センター運営委員会
27日	13日
木曾三川連合総合水防演習・広域連 携防災訓練(岐阜市)	文教民生常任委員会市内視察(学 校給食センター)
28日	19日
市消防操法大会出場隊激励(29 日)	国道21号・22号及び岐阜南部横断ハ イウェイ整備促進期成同盟会合同総 会(岐阜市)
29日	17日
シルバー人材センター定時総会	議会だより編集委員会
30日	23日
全国市議会議長会定期総会(東京 都)	新庁舎建設特別委員会
東海北陸自動車道建設連絡協議会 定期総会(岐阜市)	四線促進期成同盟会総会(可児市)
	24日
	緑化推進協議会
	26日
	予算決算特別委員会分科会
	31日
	県消防操法大会出場隊激励会
	可茂一部事務組合議会臨時会

行政視察の報告

報告  
行政視察  
を行いました

文教民生常任委員会と企画建設常任委員会が、先進的な取り組みをしている自治体等を訪問し、研修を行いました。

文教民生常任委員会

5月8日

①空き家バンクについて（島根県安来市役所）

少子高齢化と人口減少が進んでいる中で定住対策として、まず空き家を台帳化し平成19年に空き家バンク制度に移行した。平成30年3月に危険空き家対策及び活用などの空き家等対策計画を策定した。しかし、所有者と利用者のミスマッチや登録物件の管理など課題もある。

5月9日

②自治会等応援条例について（島根県出雲市役所）

自治会加入率の低下を食い止めるために平成27年に条例を制定し、絆を育み豊かなコミュニティ実現のためにそれぞれの役割や責務を明らかにした。即効性はないが連携しながら地道に取り組むしかない。

斐川まめながタクシー支援事業について（島根県出雲市役所）

高齢者等の自立支援・福祉向上を目的にデマンド型タクシーを運行している。利用料は距離にかかわらず

1乗車400円、前日に予約が必要で、目的地は公共施設や医療機関に限る。

5月9日

③公民館運営協議会について（島根県松江市役所）

運営主体は公民館運営協議会（地方団体）が行い、運営経費は一部住民が直接負担をしている。様々な地域活動の拠点施設となり、その活動をサポートしている。合併した八雲、宍道、鹿島、玉湯、八束では支所と公民館の複合化に取り組んでいる。

5月10日

④小規模多機能自治について（島根県雲南市役所）

自治会は世帯が中心で慣例的行事の取り組みが多いが、小規模多機能自治は一人一人が中心で広域的活動が基本である。従来の個別の事業展開から前進し、今は世代間の連鎖でつながりプロジェクトチームを作った連携を図っている。さらに全国的な普及促進に取り組みせよを開催し、全国の学び合いの場としても展開している。

企画建設常任委員会

5月14日

⑤福島第一原子力発電所における廃炉への取り組みについて（福島第一原子力発電所）

発電所の現状について、担当者から事故当時を振り返りながら説明を受け原発敷地内をバスの車窓から視察した。事故当時は、全てのエリアで、防護服と全面マスクを装着して作業をしていた。現在は構内環境も大幅に改善し、簡易マスクと一般作業服で作業できるエリアが、全体の95%まで広がり作業の効率も向上している。

5月15日

⑥スマートシティへの取り組みについて（福島県会津若松市役所）

会津若松市では、ICT（情報通信技術）や環境技術等を、健康や福祉、教育、防災、さらにはエネルギー、交通、環境といった生活を取り巻く様々な分野で活用し、将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会と、安心して快適に暮らすことのできるまちづくりを進めている。

5月15日

⑦新庁舎建設について（福島県喜多方市役所）

新庁舎の平面形は、正八角形の半分の変形五角形であった。内部は、採光と通風のための吹き抜けを設け、動線の起点ともなっている。庁舎棟全体の外観は、蔵のモチーフを採り入れたほか、随所に喜多方三津谷の登り窯で復活生産された施釉煉瓦をあしらっている。平成23年4月に喜多方市新本庁舎建設基本構想及び喜多方市新本庁舎建設基本計画を策定し、平成25年7月に建設工事に着手、平成27年8月に全ての工事が完了した。

5月16日

⑧ウッドインフィルの商品化への取り組みについて（栃木県鹿沼市役所）

ウッドインフィルは木材で作った洋風のBOX in BOXの間仕切りである。鹿沼市は、木材と金属加工が盛んな場所であった。日本商工会議所の地域力活用新事業無限大全国展開プロジェクトで3年間の補助金を活用し、内田洋行と開発を進め商品化をした。



# 行政視察の報告



②出雲市役所



①安来市役所



④雲南市役所



③松江市役所



⑥会津若松市役所



⑤福島第一原子力発電所 1号機



⑧鹿沼市役所



⑦喜多方市役所の庁舎

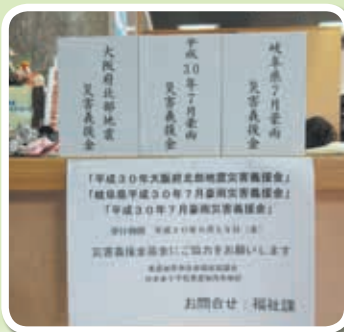


## 大阪府北部地震及び7月豪雨による災害

このたびの災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、ご遺族の皆さまにお悔やみを申し上げます。また、被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

市役所1階玄関ロビーにて、災害義援金募金を行っています。皆様のご協力をお願いいたします。

●受付期間：平成30年9月28日(金)まで



市役所1階玄関ロビー

## 議員表彰

平成30年度全国市議会議長会及び東海市議会議長会の定期総会において、下記の議員が表彰され、議会初日に議長から表彰状の伝達を行いました。

●片桐美良 議員

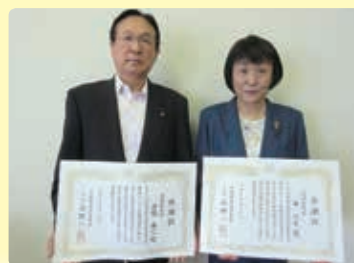
議員在職15年以上 議員歴：平成14年10月～現在



## 感謝状の伝達

全国市議会議長会から、市議会議長会国会対策委員会委員としての感謝の意を表し、下記の議員に感謝状が贈られました。

●渡辺益巳 議長 ●森 弓子 議員(前議長)



## 本会議の様子は、議会中継でチェック!!

市議会本会議の様子をインターネットに配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でぜひご視聴ください。



議会中継

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

## 編集後記

この第2回定例会中に近畿北部に震度6弱の地震がありました。東日本大震災から7年経ちますが、その後、日本各地で大きな地震が起きています。被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。「市民の命や財産を守る」防災に対する備えに対し、減災活動や災害に強いまちをつくるべきと改めて見直す次第です。

これからも議会活動を身近に感じていただけるよう、議会だよりやインターネット等、内容を充実し改善してまいります。

渡辺 義昌

次の定例会の予定  
平成30年市議会第3回定例会  
8月20日(月) 初日  
28日(火) 一般質問  
29日(水) 一般質問  
30日(木) 一般質問  
31日(金) 質疑  
9月12日(水) 最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場  
時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)  
※日程は都合により変更となる場合があります。  
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

市議会では、政務活動費の支出内容の明確化と透明性の確保のため、各党派の政務活動費の収支報告書・出納簿及び領収書を、ホームページにて公開しました(公開内容は平成29年度分)。

市議会ホームページ ⇒ 情報公開 ⇒ 政務活動費支出状況 からご覧いただくことができます。引き続き、健全な議会運営に努めてまいります。

次回の議会だよりは、平成30年11月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。



今定例会の議場装花：加茂農林高校園芸流通科の生徒さんが作成